

■ 自然や人々とのふれあい体験を通して心豊かな老西っ子を育成 (老上西学区地域協働合校推進委員会事業)

1 【活動の趣旨】

自然とのふれあい、地域の人々とのふれあいを深め交流し、体験・経験学習により子どもの心体の健全育成を実践する。

2 【特徴的な活動内容】

○「わんぱくプラザ老上西・野外体験活動」

子どもたちを対象に、自然体験学習を行った。
ゴーヤの種まきから植付けを行い、今年もさつまいもの植付けから収穫体験にも取り組んだ。
実施日 6月11日 子ども27名、大人21名
収穫体験 11月18日 子ども25名、大人15名



【野外体験 さつまいも収穫】

○「自然宿泊体験 滋賀県希望ヶ丘文化公園（竜王町）」

老上西小学校の児童（4年生～6年生）を対象に、希望ヶ丘青年の城を利用して、自然とのふれあいを深め、豊かな心を養い、宿泊生活を経験することで、集団生活のルール的重要性を理解し、自分の役割を果たす体験ができた。

班別でウォークラリーを行い、班行動を通じて同じ目的に向かう協働と協調の心を培うとともに自然に親しみ、自然を愛する心情を養った。
夜には旗づくりを行い、絆を深める事ができた。
実施日 10月14日（土）～10月15日（日）



【自然宿泊体験】

○「新春書初め大会」

小学校児童及び保護者と老上西学区住民を対象に、伝統文化の書初めを通して、子どもの健全な心身育成と豊かな心を養う事ができた。作品は、まちづくりセンター小さな美術館の展示として2月に広く地域住民の皆さんに鑑賞していただけるようにした。実施日 1月6日（土）



【書初め大会】

3 【実施に当たっての工夫】

新型コロナウイルス感染やインフルエンザ感染予防対策を念頭に置きながら実施した。

すべての活動で、専門知識を持った方に指導・教示を受けながら行った。

4 【事業の成果】

様々な事業で参加者及び実行委員・サポーターからは、計画事業の達成感を得られたという言葉をいただくと共に参加者からの種々のウイルス感染症の報告がなかったことに安堵した。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

実行委員の減少が危惧される中、次世代のサポーター方々の事業への参画もいただける気運がある。引き続き運営側の体制強化に学区内に限らず広域からの参画も求めていきたい。